

懇談会ワークショップ ～本庄市の公共施設等の今後の方向性～

検討結果のまとめ

- 開催日 平成 27 年 9 月 24 日（木） 13時30分～16時
- 出席者 13名
- 検討内容
 - ・本庄市のハコモノ施設の「機能」・「立地」・「更新の方向性」について
 - ・本庄市のインフラ施設に係るコスト縮減に向けた今後の取組について

■ 当日の様子

<A班>



<B班>



<C班>



検討結果のまとめ <A班>

テーマ1：ハコモ/施設について

①「機能」について	②「立地」について
<p><これだけは必要と思われるもの></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校（バランスよく配置） ・保育所、児童施設、幼稚園、児童センター（現状よりも必要） ・図書館、文化施設、公民館、市民活動施設 ・スポーツ施設 ・防災施設、避難施設 ・庁舎、市役所 ・資料館、収蔵施設 ・会議、集会、サークル活動の機能 ・保健センター <p><中心市街地に必要な機能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健（健診・相談） ・福祉（相談・リハビリ） ・図書館、資料館、展示室 ・講演会場、ホール等発表の場 <p><集約化できる機能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館は集約可能 ・市営住宅は老朽化していれば集約化 ・小中学校の集約、空き教室の活用 ・収蔵庫は集約化 <p><複合化できる機能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校と公民館（図書、調理、工作、スポーツ）の複合化 ・小学校に老人施設や児童センター、文化財資料館等を複合化 ・図書館と民間のコンビニやカフェを複合化 ・美術館と歴史資料館の複合化 	<p><望ましい立地（分散型配置）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災施設は必ず分散配置（現状を維持） ・図書館は学校図書室と集約することで分散配置できる（司書と蔵書の増加が必要） ・学校や大きな施設でも高齢者や子供には、予算が許す限りで分散型が望ましい。 ・常に交流があるので災害時等を考慮すると自治会単位での施設配置が望ましい。 ・公民館、福祉、子育て施設は小学校区単位で分散。 ・市営住宅は旧市町単位で分散。 <p><望ましい立地（集約型配置）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設は市全域で集約型配置（種目ごと） ・資料館、収蔵庫、倉庫等は市全域で集約。 ・保健センター、休日医療センター、図書館、市営住宅は旧市町単位で集約。
③「更新」の方向性	
<p><各更新のパターンに対する意見等></p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="156 1451 794 1594"> <p><パターン1 全ての施設をそのままコンパクト化></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供や高齢者に配慮するとパターン1での更新も検討するべきではないか。 </div> <div data-bbox="810 1451 1449 1594"> <p><パターン3 地域ごとに役割分担></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケースバイケースの施設があり、施設の機能ごとに検討が必要。 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="156 1621 794 1787"> <p><パターン2 地域ごとに施設を複合化して更新></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校と公民館を複合化して更新。 ・福祉と子育て施設を複合化して更新。 </div> <div data-bbox="810 1621 1449 1787"> <p><パターン4 中心市街地への集約と周辺地域への活性化施設の設置></p> <ul style="list-style-type: none"> ・方向性としてはパターン4が良いが、子供や高齢者に配慮することも必要。 </div> </div>	

テーマ2：インフラ施設について

インフラ施設への取組	今後の方向性まとめ
<p><民営化へ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設を民営化。 ・市民文化会館等はすでに民営化しており良いと思う。 ・防災倉庫は小中学校単位に分散して、市民や自治会による維持管理を進める。 ・市有の駐車場を有料化し、民間業者に管理を任せる。※施設利用者へは無料券を配付する。 <p><市民団体へ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動施設の維持管理を市民や団体に。 ・屋外スポーツ施設については、種目ごとに集約し、その種目の団体に管理を委託する。 ・公園の維持・清掃を自治会に。 ・市道の清掃や草花の植え込みを自治会等に依頼する。(～花通り運動等) <p><長寿命化へ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路、橋梁、上下水道については長寿命化を促進する。 	<p><グループワークまとめ></p> <p>ハコモノ施設の今後の方向性</p> <p>(これだけは必要だと考える機能)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民が必ず利用するもの(学校、公民館、防災、庁舎) <p>(中心市街地に必要な機能)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館、福祉施設、保健施設、文化施設 <p>(集約・複合化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財収蔵庫、学校と公民館 <p>(立地について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災・公民館施設は分散 <p>(更新の方向性について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パターン1～パターン4まで様々な意見が出たように、施設の機能や地域の状況に応じて検討するべき。 <p>インフラ施設の今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インフラ施設の民営化や市民団体への維持管理の委託など、コスト縮減に向けた管理運営方法を検討する。

検討結果のまとめ <B班>

テーマ1：ハコモ/施設について

①「機能」について	②「立地」について
<p data-bbox="172 286 437 318"><必要と考える機能></p> <ul data-bbox="172 320 533 524" style="list-style-type: none"> ・学校 ・公民館 ・図書館 ・スポーツ施設（合宿所など） ・公園 ・集会施設（会議室） ・防災機能 <p data-bbox="172 678 437 710"><複合化できる機能></p> <ul data-bbox="172 712 572 797" style="list-style-type: none"> ・小学校と公民館の複合化 ・図書館と集会施設の複合化 ・集会施設として民間施設を利用 	<p data-bbox="833 286 1050 318"><望ましい立地></p> <ul data-bbox="833 320 1417 510" style="list-style-type: none"> ・「安全・安心」であることが最優先。 ・中心市街地に集約していくことが望ましい。 ・地域のつながりや文化圏を考慮すると、「小学校区」が基本となるのでは。 ・文化施設やスポーツ施設などは、必ずしも市単独で保有する必要はないため、他市町との相互利用も考えた立地を考える。
③「更新」の方向性	
<ul data-bbox="172 1025 746 1137" style="list-style-type: none"> ・全ての施設を複合化。 ・小学校区を基本に集約、複合化。 ・施設の利用目的や地域の特性にあわせた更新。 ・空いている民間施設の利用。 	

テーマ2：インフラ施設について

インフラ施設への取組	今後の方向性まとめ
<ul data-bbox="172 1447 711 1682" style="list-style-type: none"> ・増やさない。 ・コンパクトシティの推進 ・「安全・安心」を基本とするインフラ整備 ・適正な管理と更新 ・ネーミングライツの活用 ・効果の高いものから優先して整備。 ・自治会やPTA など、地域と連携して管理。 ・補助金等の積極的な活用（財源の確保） 	<ul data-bbox="833 1447 1417 1585" style="list-style-type: none"> ○全ての施設を複合化 ○小学校を基本とする複合化 ○民間施設の利用（空きスペース等） ○スポーツ施設や文化施設などは、周辺市町との相互利用を考える。

検討結果のまとめ <C班>

テーマ1：ハコモ/施設について

①「機能」について	②「立地」について
<p><必要と考える機能></p> <ul style="list-style-type: none"> 学校、公民館、文化施設（学習の場） 保健福祉関連施設、保育所、児童施設（健康づくり・福祉） 庁舎等行政関連施設（様々な人が利用する施設） <p><中心市街地に必要な機能></p> <ul style="list-style-type: none"> 商業・産業振興施設、インフォメーションセンター、観光案内所（情報発信機能） 学校施設（各地域の中心市街地に） 児童センター、保育所等児童施設 <p><周辺地域に必要な機能></p> <ul style="list-style-type: none"> 地域集会所、ふれあい広場、多目的活動施設（地域のつどいの場所） 老人福祉施設 スポーツ施設 文化施設、公民館 図書館 施設までの足がない方（高齢者等）のための施設 <p><複合化・集約化できる機能></p> <ul style="list-style-type: none"> 学校と公民館、図書館、市民活動施設、学童、保育所、資料館（学校を中心とした複合施設） 公民館と市民活動施設、文化施設、資料館 スポーツ施設と運動公園 	<p><望ましい立地（分散型配置）></p> <ul style="list-style-type: none"> 公民館は分散配置して、周辺地域の人にも使いやすいように。 保育所は近くにあるほうが利用しやすいため各地域に分散して配置。 <p><望ましい立地（集約型配置）></p> <ul style="list-style-type: none"> 学校は各地域（地域の単位は様々だが）の中心市街地に集約して配置。 庁舎、図書館、資料館は集約型配置。 交通の便を考慮した上で施設を集約型配置。 <p><望ましい立地></p> <ul style="list-style-type: none"> 災害の少ない場所へ施設を設置するなど、災害を考慮した立地。 <p><立地について検討する地区単位></p> <p><旧市町単位></p> <ul style="list-style-type: none"> 文化施設 スポーツ施設等健康な人を対象とする施設（施設までの足を確保できる）。 <p><小学校区単位></p> <ul style="list-style-type: none"> 教育関連施設 保育所
<h3>③「更新」の方向性</h3>	
<p><各更新のパターンに対する意見等></p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p><パターン1 全ての施設をそのままコンパクト化></p> <ul style="list-style-type: none"> 地域ごとに小規模でも施設を残して欲しい。（利用しやすい立地を維持する。） </div> <div style="width: 48%;"> <p><パターン3 地域ごとに役割分担></p> <ul style="list-style-type: none"> パターン2と組み合わせ、地域ごとの複合化を進めながら、地域によっては役割分担を。（地域の独自性） </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 20px;"> <div style="width: 48%;"> <p><パターン2 地域ごとに施設を複合化して更新></p> <ul style="list-style-type: none"> 地域ごとに学校を中心として複合化。（地域の拠点を作る。） </div> <div style="width: 48%;"> <p><パターン4 中心市街地への集約と周辺地域への活性化施設の設置></p> <ul style="list-style-type: none"> 中心に大きな施設をまとめ、周辺地域には小規模の活性化施設を。（地域の拠点をつくと共に市全体の利便性を高める。） </div> </div>	

テーマ2：インフラ施設について

インフラ施設への取組	今後の方向性まとめ
<p><コスト縮減></p> <ul style="list-style-type: none"> ・インフラ施設の長寿命化を図る。 ・橋や道路についてはコストがかかっても必要であるため、早めのメンテナンス等の対策でできるだけコストを抑える。 ・ハコモノを減らしてもインフラを維持する。 <p><規模の適正化></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模公園の廃止などインフラ施設の適正化を図る。 <p><管理方法の適正化></p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者制度だけに頼らず、責任者を置いて市民や地域団体に管理してもらおう。 ・清掃（歩道等）などできる範囲で市民も協力して取り組む。 ・指定管理者制度の活用を促進する。 	<p><グループワークまとめ></p> <p>ハコモノ施設の今後の方向性</p> <p>①「機能について」 （必要と考える機能）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校、公民館等生涯学習施設、保健福祉施設 ・学習の場、健康づくり・福祉の機能 <p>（中心市街地に必要な機能）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校、児童施設、産業振興施設、観光案内所 ・地域の中心となる学校、情報発信機能 <p>（周辺地域に必要な機能）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域集会所など“集える場所”が必要。 <p>（複合化・集約化できる機能）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校を中心とした公民館や資料館などとの複合化 <p>②「立地について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館、保育所、老人福祉関連施設等を分散配置し、学校、図書館、資料館等は集約配置するなど施設の特性にあった配置を検討する。集約配置をする場合は交通の便等に考慮する。また、災害の発生を考慮した立地を検討する。 <p>③「更新の方向性」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ごとに学校を中心とした複合施設を建設する。地域の状況によっては役割分担する。 <p>インフラ施設の今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コストの縮減を待たず進める。 ・施設量の適正化を図る。 ・市民との協働や指定管理者制度の有効活用など、施設の特性に応じた管理方法を検討する。

ワークショップ検討結果のまとめ（全体）

テーマ1：ハコモ/施設について

■①「機能」について

<必要と考える機能>

- ・小中学校、公民館、文化施設などの学習の場
- ・保健センター、児童施設、老人施設などの健康づくりや子育て、福祉関連の機能
- ・防災機能や庁舎など様々な人が必要とする機能

<中心市街地に必要な機能>

- ・産業振興やインフォメーションセンター、観光案内所などの情報発信機能
- ・保健福祉や子育て支援等の機能
- ・庁舎、図書館や資料館、文化会館等の機能

<周辺地域に必要な機能>

- ・地域集会所や多目的活動施設など地域の“集える”場所
- ・周辺地域ごとに歩いて行ける範囲に老人福祉施設や公民館機能

<複合化・集約化できる機能>

- ・小中学校や公民館、市営住宅の集約化
- ・民間施設の活用による複合化・集約化
- ・小中学校を中心として、公民館や老人施設、児童施設、資料館等を複合化
- ・図書館と民間の施設を複合化

■②「立地」について

<望ましい立地>

- ・「安心・安全」であることが最優先
- ・必ずしも市単独で保有する必要のないものは、他市町との相互利用も考えた立地を検討

<望ましい立地（分散型配置）>

- ・高齢者や子供などの利用者を考慮すると“予算の許す限り”施設の分散配置が望ましい。
- ・防災施設等は分散型配置

<望ましい立地（集約型配置）>

- ・中心市街地に集約していくことが望ましい。
- ・庁舎、図書館、資料館等は集約型配置

<立地について検討する地区単位>

- ・地域のつながり等を考慮すると小学校区単位が基本。
- ・施設の機能によって検討する地区単位は異なることに留意する。

■③「更新」の方向性

<パターン1 全ての施設をそのままコンパクト化>

- ・子供や高齢者に配慮すると、利用しやすい立地を維持するために検討するべき。

<パターン2 地域ごとに施設を複合化して更新>

- ・地域ごとに学校を中心として複合化し、地域の拠点をつくるべき。
- ・全ての施設を複合化するべき。

<パターン3 地域ごとに役割分担>

- ・地域ごとの複合化と共に、地域の独自性を出す。

<パターン4 中心市街地への集約と周辺地域への活性化施設の設置>

- ・地域の拠点をつくと共に、市全体の利便性を高めるため、中心に大きな施設をまとめ、周辺地域の小規模の活性化施設を設置する。

【テーマ2：インフラ施設について】

■インフラ施設への取組

<コスト縮減>

- ・道路、橋梁、下水道などインフラ施設の長寿命化を図る。
- ・早めのメンテナンス等（予防保全）の対策でできるだけコストを抑える。
- ・安心・安全のため、ハコモノを減らしてもインフラを維持する。
- ・効果の高いものから優先して整備する。
- ・ネーミングライツの活用

<施設総量の適正化>

- ・コンパクトシティの推進
- ・インフラ施設を増やさない。

<管理方法の適正化>

- ・自治会やPTAなど、市民や地域団体と連携して公園や歩道の清掃などインフラ管理を実施する。
- ・屋外スポーツ施設の管理を各種目の団体に委託するなど、施設利用者による管理を行う。
- ・指定管理者制度の活用を促進する。

【今後の方向性のまとめ】

○ハコモノ施設の今後の方向性

「機能」について

①施設の多機能化

・対象者や目的別に施設を維持するという考え方に捉われず、学校、公民館、保健福祉関連施設などを複合化・集約化し、1つの施設を多機能化することで、必要な機能の維持・充実を図る。

②地域別必要機能の提供

・中心市街地においては庁舎や図書館、文化会館など中核的・高次な都市機能等を提供する。
・周辺地域においては集いの機能や学習の場など、地域コミュニティの拠点としての機能を提供する。

「立地」について

①効率的な集約型施設配置

・中心市街地など利便性の高い拠点には、庁舎や図書館等の中核的な機能を集約して配置する。
・公共交通網や機能の連携等により、周辺地域を含む市民の利便性の確保を図る。
・安心・安全に考慮し、災害の発生を考慮した立地を検討する。

「更新」の方向性について

①画一的な配置基準の見直し

・施設の機能や地域の人口構造等を考慮し、択一ではなく状況を考慮した更新のあり方について検討する。

②学校を中心とした公共施設の複合化

・地域で最も身近な公共施設である学校施設に、地域における必要な機能を集約し、複合化を図ることで、子どもを中心に若者世代から高齢者まで様々な市民が集う場を創出する。

○インフラ施設の今後の方向性

①メンテナンスサイクルの構築

・施設の長寿命化や、施設の安全性の確保のため、予防保全等によるメンテナンスサイクルの構築を推進する。

②施設総量の見直し

・コンパクトシティの推進や維持可能な施設総量について検討し、適正化を図る。

③市民や地域団体との協働

・市民や地域団体による管理運営への参加や、民間事業者等による指定管理者制度の活用など、施設の特性に応じた管理方法を検討する。